

今!ひろしま神楽が熱い!

文化庁・地域文化芸術振興プラン

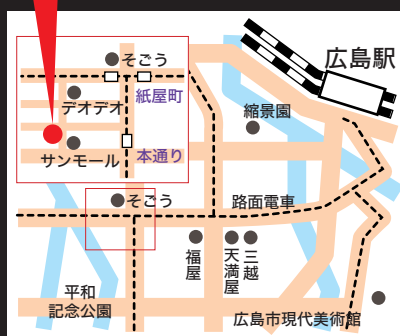
夜神楽 in ひろしま

平成22年3月19日(金)・26日(金)

開場: 20:00・開演: 20:30・終了予定 22:00

photo by yuk☆kii

広島県民文化センター多目的ホール (広島市中区大手町1丁目5-3)



鑑賞チケット

800円(全席自由席) 全席前売り 当日券はございません。

19日(金)・26日(金)とも同じ内容で開催します。

20:00 開場

20:30 神楽公演 紅葉狩 大森神楽団 広島市佐伯区

21:10 神楽公演 八岐大蛇 山王神楽団 北広島町

21:50 記念撮影

22:00 終了

※都合により、出演団体・演目が変更になる場合があります。

お問い合わせ

RCC神楽実行委員会
(RCC文化センター内)

TEL 082-222-0044

主催: 文化庁・広島県・広島県地域文化芸術振興プラン推進事業実行委員会・広島商工会議所・社団法人広島県観光連盟

広島でしか観られない神楽をどうぞ

神楽は、数千年前 五穀豊穰を願って農耕儀礼として生まれたものです。

神楽は、全国的に郷土芸能として今でも保存伝承されています。

広島の神楽は、舞台芸術に育ちました。

広島の神楽で演じられる物語は、「日本の神話」や「歴史上の人物」など60演目を数えます。

今夜は、この中から2演目をご覧くださいます。

きっと満足いただけることでしょう。

紅葉狩 もみじがり

この神楽の物語は、高い山々が日本の屋根を想わせる信州の戸隠山(とがくしやま)の伝説と、日本の美しい秋の情景が結ばれて創られたものです。

今から千年の昔、戸隠山に鬼が棲み、近くの村々で略奪(りやくだつ)を繰り返していました。

鬼の悪事は都へ伝えられました。

そこで国の平和を守る将軍・平維茂(たいらのこれもち)は、都から戸隠山へ鬼退治に向かいました。

維茂が戸隠山を登ると、秋の陽が照りはえて山々から見渡す紅葉は、真っ赤な海のように輝き、別世界へ迷い込んだように感動したのです。

そこへ、美しい姫が現われて、この紅葉の樹の下の宴に誘いました。

実は、この姫は鬼の化身だったのです。

維茂は、すでに将軍であることを忘れ、姫が鬼の化身であることも知らず、お酒をすすめられるままに飲んで酔いつぶれてしまいました。

姫は、鬼となり、維茂を引き裂いて食べようとします。その時、いつも維茂が大事に祈っている神さまが現われます。

神さまは維茂を目覚めさせ、正義の神の剣を授け、鬼を退治します。

大森神楽団 (広島市佐伯区)

広島県の西部、佐伯郡湯来町は大森八幡神社を氏神社として、現在まで百数十年の歴史を持つ当神楽団は、古くから伝承されている十二神祇舞と、平成六年からとり入れられた山県旧舞(六調子)、平成七年からは、高田新舞(八調子)と、3種類の神楽を保持している神楽団です。十二神祇舞だけ舞っていた数年前までは後継者不足に悩まされ、団の存続が危ぶまれていましたが、新しい神楽を習い始めたころから次第に団員数も増え、活気溢れる神楽団へと変わって行きました。現在、人気のある山県旧舞、高田新舞を中心に活動し、各地のイベント・大会などに積極的に出演し、好評をいただけるほどになりました。また、祭りのときなどは十二神祇舞も絶やすことなく奉納しています。

八岐大蛇 やまたのおろち

この物語は、日本の神話です。

昔むかし『出雲の国』に八人の娘と老夫婦が住んでいました。 ある夏の事です。

「一つの体に頭が八つ尾が八つ」蛇の形をした怪物が、大きな山から出てきて娘を一人飲み込みました。そして、その後毎年その季節に現われて娘を一人ずつ飲み込むのでした。

いよいよ八人目の娘が飲まれる時になり、娘と老夫婦は悲しんでいました。そこへ、空のかなたから神様が降りて来られました。神様は、老夫婦に酒を造らせ犠牲(いけにえ)になる娘の前に置かせました。怪物は、雷や大雨と一緒に現われ、酒に映った娘を、娘と思い飲み干して酔いつぶれます。勇気ある神様は、怪物を退治されます。そして助けた娘と結婚され、出雲の国で幸せに暮らされた、というお話です。

実は、この怪物は西日本に連なる山々、そしてこの山々から流れ出る洪水のことです。また娘は、希稲田姫(くしいなだひめ)と書きます。希とは、めずらしいという意味があり「めずらしく豊かに実った稲の田の姫」という意味です。

『八岐大蛇』の物語は、田畑を洪水から守り、米づくりの国・日本が生まれたことを伝えています。

山王神楽団 (北広島町)

明治中期に地元、山末神社氏神祭に神楽を奉納するため、神社周辺の人々によって「下本地神楽団」として発足した当神楽団は、昭和25年、神社に奉られている「山王権現」から名を頂き「山王神楽団」となり、現在にいたります。近年においては、ロシアサンクトペテルブルグ建都300年祭に、千代田混成神楽団の一団体として参加し、また、日韓芸能交流公演で、韓国のコリアンファンタジーと共に、国立劇場にて公演を行うなど県外の公演にも力をそそいでおります。練習の都度、あるいは公演の都度「演技の粋をかたむけて」を目標に、今後も芸の習得に取り組み、伝承・保存に努めてまいります。ご支援、ご指導のほど宜しくお願い致します。